

# くらし・福祉をまもり 地域経済を元気に

日本共産党

川越市民の声を県政に

# もりや ひろ子

元県議会議員  
(県議予定候補)



## プロフィール

- 1949年東京都生まれ (61歳)
- 東京女子医科大学付属病院准看護学院卒
- 富士短期大学経済学部通信課程卒
- 県商工団体連合会婦人部協議会相談役
- 川越市議会議員(1期)、埼玉県議会議員(1期)
- 日本共産党埼玉西部地区委員・党川越市委員長

みなさん、こんにちは。お元気で  
すか。政治にたいする不満や怒りの  
声が異口同音によせられています。  
国の悪政にたいして県政が憲法に  
基づいて、住民の暮らしを守る地方  
自治体としての役割がいまほど求め  
られているときはありません。  
私は誰もが安心してかかれる医療  
を志して病院で働き、結婚後は夫の  
仕事を手伝いながら中小零細企業の  
厳しい環境のなかで、営業と暮らし  
をまもる立場で働いてきました。  
これが私の原点です。医療・福祉  
の充実のために全力をあげて頑張っ  
ていきますので、どうぞよろしくお  
願いします。

ごあいさつ

国政へも

## 県民の声を しっかり届けます



日本共産党

### 政治の責任で賃上げを主導

- 労働者派遣法を抜本改正して非正規社員を正社員にする
- 中小企業に手当をしながら最低賃金を時給1000円以上に引き上げる
- 雇用の7割を抱える中小企業を本格的に支援して大企業の労働者との賃金格差をなくしていく
- 日本航空のような無法解雇をやめさせて解雇規制のルールを強化する

大企業は空前の「カネあまり」(内部留保は244兆円)。賃上げは十分可能です。

### 農業も地域も 雇用も破壊する TPP参加には反対

TPP(環太平洋連携協定)は、関税を撤廃し、農産物の輸入完全自由化をすすめるものです。日本農業と地域経済に深刻な打撃となり、農水省の試算でも食糧自給率は現在の40%が14%にまで低下してしまいます。食料主権を守ることはその国の当然の権利です。

## 草の根の運動と結んで実現

日本共産党

日本共産党は全県の地方議員が力をあわせて、地方政治を大きく動かしてきました。



- 30の自治体で国保証のとりあげを中止させる
- 後期高齢者医療制度の保険料の引き下げを実現
- 障害児の特別支援学校を県が増設
- 周産期母子医療体制を県が整備・充実
- 医師確保へ医学生奨学金制度を県が創設

### 領土問題

## マスコミも 「一番は共産党」

日本共産党は、中国、ロシアに、尖閣諸島、千島列島は日本の正当な領土として、国際的、歴史的な根拠があると主張。マスコミも「尖閣」アピール「一番は共産党」(読売新聞)と注目しています。